

事業完了（廃止等）報告書

調査研究期間等

調査研究期間	委託を受けた日 ~ 平成30年 3月16日
調査研究事項	委託研究 イ 入学希望既卒者に関する事 エ 外国籍の者に関する事
調査研究のねらい	平成28年度から入学希望既卒者も一定の要件を満たせば再入学を認められることとなった。一方、多国籍の生徒が在籍する中での教科指導の在り方は、依然として大きな課題である。 そこで、生徒一人一人の状況に応じた効果的な指導方法について研究し、生徒のニーズに対応し個々の学力向上につなげることを目的とする。
調査研究の成果	別紙のとおり

別紙

1 生徒の実態

在籍生徒の多くは15歳以上の新渡日外国人である。特にネパール、アフガニスタンの生徒の入学希望者が急増している。入学の問い合わせでもこの2か国は群を抜いている。本年度は、中国、韓国、フィリピン、インド、ネパール、ガーナ、コロンビア等10カ国の出身者が集まった。

年齢は10代から40代の幅だが、10代の生徒が87%を占める。出身国での修学年数の違い、日本語習得状況や学ぶ目的の違いなど多様な生徒がいる。

2 調査研究の目的

入学希望既卒者及び日本語の習熟度が多様な外国籍生徒一人一人の状況に応じた効果的な指導方法及び学習内容について研究し、基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習得と学習意欲や学習達成感の向上を図ることを目的とする。

3 調査研究の内容

《委託研究Ⅰ》

イ 入学希望既卒者に関すること

- ・授業の展開方法全般について

エ 外国籍の者に関すること

- ・母語を日本語としない生徒への日本語指導を踏まえた教科指導の方策
- ・生活用語が英語圏以外の生徒への日本語指導を踏まえた教科指導の方策

4 本年度の取組

生徒のニーズに対応し個々の学力向上につながることをめざし、「生徒が主体的に取り組むとともに学ぶ喜びを感じることのできる教材づくり」と「感動のある質の高い教育活動の展開」等を中心に研究を行った。

なお、本年度は既卒者の希望がなかったことから、《委託研究Ⅰ》「イ 入学希望既卒者に関すること」については、研究を進めることができなかった。

(1) 教員研修

- ・6月 「ネパールの教育事情とコミュニティ」

ネパール国籍の生徒が増加傾向にある。日本の中学校での適切な学習指導と生活指導（生活習慣や規範意識等）についての理解を深めた。

- ・10月 「日本語の能力を高めるための効果的な指導法」
日本語の習得（読み書き）を向上させるためのより効果的な指導方法や教材開発の工夫について学んだ。
- ・11月 「外国人の在留管理制度に関する基礎事項」
日本への留学の現状（ビザの種類や取得方法等）と母語を日本語としない生徒の学習・生活指導についての理解を深めた。

（2）授業実践

本校夜間学級では、日本語学級は設置していない。日本語担当教師が配置されていないため、日本語指導を行いつつ授業展開をしていく必要がある。

- ① 自作の教材を作成するにあたり、漢字にルビをふり日本語が伝わりやすくする。
 - ▶ 数学では、「作図の基本」をテーマに研究授業を行った。用語の理解にルビ・英語を補助的に使って「ことば」を正しく言えるようにし、数学の内容に迫った。
 - ▶ 社会では、日本語の習熟度に応じたクラス編成を行い、それぞれの教材を使用した授業展開を行った。
- ② 視覚で対応できる授業（理科の演示実験、社会のVTR教材、日本語教材など）から理解を深める実践を展開した。
 - ▶ 理科の授業では、「熱気球」をテーマに実験を含めた一斉授業の展開をした。熱気球をグループ毎に作り、体育館で飛ばす実験をした。説明には、視聴覚機器・パワーポイントの活用をした。
- ③ 音楽の授業では、歌詞を優しい日本語に置き換え、体全体で表現して伝える活動を取り入れた。

5 成果と課題

（1）成果

アンケート調査などから、生徒は授業や学校生活に対して満足している様子であった。生徒のニーズに合った授業展開ができていると考えられる。学ぶことの楽しさを理解できるように授業を工夫することにより、学習意欲がさらに増した。

（2）課題

- ・英語圏以外の母語をもつ生徒に対して、よりわかりやすく授業を展開するための方策として、視覚でわかる教材開発やICTの効果的な活用が必須である。

- 生徒が自ら考え、何を学ぶかを考えさせる方法も継続して研修する必要がある。
- 家庭での学習は、なかなか身につけていないのが現状である。
- スマートフォンで何でもすぐに調べられるが、生徒指導上の問題がある。電子辞書の活用を次年度は考えたい
- 学び直しの生徒には、習熟度に合わせて授業内容を提供する準備が必要である。
- 不登校生徒には、安心して登校できる環境と通常学級に戻るまでの対応をいかにすべきかの研修も必要である。